

# 世界が危ぶむ 井の中の蛙 ニッポン

沖縄へと「三密」移動し  
菅官房長官（共同）

アメリカでは、GMなど3大メーカーが人工呼吸器導入に乗り出さ（ゼネラルモーターズ、ゼネラルエレクトリック、ゼネラル・モーテル）

# 田中康夫 令和風景論

コロナ狂騒曲一

までに接種するBCG予防効果は10数年。「（再接種しても）成人の結核予防に効果は高くない」。結核は早期発見・早期治療によつて治せる病気」との但書きが。「ワクチン万能」脳な御仁が黙して語らぬ眞実で。その「古くて新しい」日本発BCG接種こそ全人類をコロナウイルスから救

うトモダチ作戦と冒揚する「意識高い系」に、見解を伺いたいものです。

よりおなじみの「先手先手の提言」に、良民常民が「全幅の信頼」を寄せるのも宜なるかな。  
風疹、四種混合を始め日本国内で販売される計27ワクチンを扱う国内外16企業1財団が加盟する一般社団法人・日本ワクチン産業協会。その会員企業として結核予防用ワクチンBCGを一手に引き受けるのは、1952年(昭和27年)に公益

分離した日本ビーシージー  
製造株式会社です。

「政府広報オンライン」は  
近時、以下の警告を特筆大  
書しています。「最近の日  
本の結核患者の傾向を見る  
と70歳以上の高齢者が約6  
割」。「毎年約18000人  
が新たに結核を発症し、毎  
年約1900人が結核で  
死亡」。「古くて新しい感染  
症、『結核』にご注意！」と。

し続ける存在。インフルエンザ「予防」ワクチンがシーズン毎に、洋服の流行と同じく装いも新たに「ニューコレクション」で登場する「理由」です。

COVID-19も、当初のS型に加えて欧米で猛威を振るうL型が日本国

加えて、厚生労働省は「基準価格一覧」にワクチンを何故か収載せず、世界に冠たる国民皆保険制度の適用外。ことワクチンに関しては全国津々浦々の医療機関の上部団体も、診療報酬を巡って政府と攻防戦を繰り広げる、労使ベア交渉

ロツクダウンや緊急事態宣言を遙かに超える「未知との遭遇」。それが今回のCOVID-19新型コロナウイルスです。

「令和風景論」初回・承前、何れの最後でも記した通り、「無色・透明・無臭」なのがウイルス。放射能と同じく人間の五官が察知し得ぬ厄介な代物なのです。

抗生物質投与で殺菌可能なバクテリアⅡ細菌と異なる、季節性インフルエンザに象徴されるウイルスⅡ病(インセント)にういてんぶん)

内でも急増。とするなら、  
変幻自在なウイルスに対  
し、ワクチンも治療薬も既  
存・新規の別なく「後手後  
手」な「イタチごっこ」を  
続ける蓋然性が高いと冷徹  
に捉えるべき。

異能作家が「コロナ狂騒曲」の舞台裏を徹底的に暴くシナリオ、第3弾。「テマやフェイクに気をつけて」と発言した安倍首相だが、当の政府による対応策は? 検査体制は拡充されず、感染研の閉鎖性は度を越え、記者会見は予定調和果たして、あり得べき「再興策」とは何か。

演台左右のプロンプターに映し出される原稿を見遣りながら19分間、雄弁に語りながり、いつた最後の箇所を引用し、「しかし気になるのは『打ち勝つた』の未来図に惑わされ、いま全力を尽くすべき感染との戦いに楽觀が生じないか」。「昭和の戦争指導者みたいに、現実から目

空間・密集場所・密接場面の必要十分条件を満たした  
3月28日、首相官邸の記者会見への違和感を臆せず記  
しました。「脇わきに落ちぬ言葉がある」。敵はそんなに  
ヤワだろうか」と。  
「人類が新型コロナウイルスに打ち勝った証しとして、国民の皆様と共に来年ピックを必ずや成功させて

内閣總理大臣。

区本郷の東大医学部とは全く別系統の組織です。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を構成する12名の大半は、これら帝國陸軍DNAと呼ぶべき「知らしむべからず」精神を脈々と受け継ぐ組織内の榮達者。「深い知見」に

「感染症予防」を大義名分に掲げ、人体実験で細菌兵器開発に勤しんだ旧日本陸軍の秘密組織・関東軍防疫給水部=731部隊。その残党が幹部に名前を連ねた国立予防衛生研究所を名称変更したのが、新宿区戸山の国立感染症研究所。同じく陸軍省医務局が積極関与の国立伝染病研究所を改組したのが、港区白金台の東

# 世界が危ぶむ井の中の蛙ニッポン

日本国内でも3波に及んだ流行は取り分け2度目が酷く、発症から漸く4年後に「打ち勝った」と旧内務省衛生局が編纂した『流行性感冒』スペイン風邪』大流行の記録』(平凡社刊)には、死者38万8727人と記されています。改竄や毀棄とは対極の、「記録を残す」倫理観が1世紀前の永田町や霞が関には厳然と存在していたのです。

「歴史の解釈を巡って後世の人が迷わないように」、主権者の国民が正確な事実を知ることが出来るように」と福田康夫氏が心血を注ぎ、公文書管理法・公文書等の管理に関する法律が

念「アベノマスク」の御下賜を満を持して閣議決定。

けにはいくまい」と畠み掛け、カンザス州のファン斯顿米国陸軍基地が実質的発症源といわれる1918年(大正7年)から世界中を席巻した「スペイン風邪」の歴史を繙きます。

日本国内でも3波に及んだ流行は取り分け2度目が酷く、発症から漸く4年後に「打ち勝った」と旧内務省衛生局が編纂した『流行性感冒』スペイン風邪』大流行の記録』(平凡社刊)

には、死者38万8727人と記されています。改竄や毀棄とは対極の、「記録を

残す」倫理観が1世紀前の永田町や霞が関には厳然と存在していたのです。

「歴史の解釈を巡って後世の人が迷わないように」、主権者の国民が正確な事

実を知ることが出来るように」と福田康夫氏が心血を注ぎ、公文書管理法・公文書等の管理に関する法律が

して説明する義務がある。

他方で、民主主義が機能する上で欠かせない存在の貴方達に求められているのは、常に懐疑的に捉えて質問を投げ掛け、事実を的確に報ずる気概だ。

紛う方なく対極な心・智の持ち主が、翌々日の1月20日に就任した第45代大統領ドナルド・トランプ氏。

地名・人名・動物名が含まれる感染症の名称はNGとWHOが取り決めて5年が経過した今も猶、スペイン風邪をアメリカ風邪とは断

じて認めぬ一方、相も変わらず毒吐きを続行。

が、その彼と「一にも二にも兎に角、テストだテスト」とドライブスルー方式でPCR検査を導入。ス

イスのロッショ、韓国のコジエン・バイオテック両社の迅速検査キットも導入。自国のアボット・ラボラトリーズが開発した5分間で

確認可能な「検査は無用」と宣った「識者もどき」

記者会加盟メディアが事前通告した質問への回答が表示され、最後に「ガス抜き」的に指名されたブリーラン

サー2人の質問に対しても、商業的に秘書官がPCで打ち込むメモを悠然と読み上げ、経済産業省出身で

中小企業庁長官を務めた長谷川榮一内閣広報官が「皆様どうもご協力有り難う御座いました」と締め括った

予定調和会見。

彼の差は歴然です。終

了後に透かさず京都在住のフランス人の友人からメールが着信。LとRの発音が苦手な日本ではReaderも

Leaderとして認知されているのでしょうか。

「生産体制強化で毎週1億枚以上を供給可能」と2月12日に、「増産や緊急輸入で6億枚を超える調達を確保」と3月17日に内閣官房長官が声明するも、ソビエト社会主義共和国連邦崩壊直前の国営市場も斯くやと

が開催されました。

窮乏する日本郵政グループに愛の手を差し伸べるべく郵送料数十億円を投じ、持続可能なSDGs理念に相応しき再利用可能なリネン製マスクを全世界2枚ずつ、日出する国の全ての指標に優先していた株価も奈落へと転落し続けるアベノミクス改め「国難突破」析

## 東京五輪の「夢遊病」から覚醒せよ

更に「コロナ検査」世界に遅れ「1日2千件弱、ドイツの17分の1」と2日付「日経」が一面で報じ、如何なる根拠を以てか国民皆保険の基本たる「早期発見・早期治療」の大原則を

返す刀で、聞き分けの良い良民常民が自宅に蟄居を強いられた3月29日(日)、県議選を5月に控える沖縄県那覇市へと、供用開始されたものの国際線全便欠航状態が続く那覇空港第2滑走路の記念式典に託け、配下の国会議員も引き連れ東京から官房長官が「三密」移動。国際通りの店主らと素手で握手を交わすTV映像に、昭然呆然の声。

「早期検査」すら儘ならぬなら、全国数千人規模の感染者率PCR「早期調査」を無作為抽出で、と前稿で提

連結売上高2275億円を誇るのに、迷走するスマホ決済とAI事業、韓国持ち分法適用会社赤字拡大を大義名分に連結決算マジックで今年度も法人事業税ゼロ円のLINE(株)は、濡れ手で粟の鳴籠状態です。

「早期検査」すら儘ならぬなら、全国数千人規模の感染者率PCR「早期調査」を無作為抽出で、と前稿で提

連結売上高2275億円を誇るのに、迷走するスマホ決済とAI事業、韓国持ち分法適用会社赤字拡大を大義名分に連結決算マジックで今年度も法人事業税ゼロ円のLINE(株)は、濡れ手で粟の鳴籠状態です。

嘲笑い、「医療崩壊」を招く「検査は無用不要!」とタイムンぶっこいてた「医者もどき」「学者もどき」「識者もどき」の皆さんも敵前逃亡状態。

こうした中、医系技官「コネクト大坪」が君臨する厚生労働省は、韓国生まれのLINEと「新型コロナウイルス感染症のクラスター対策に資する情報提供に関する協定」を締結。

「早期検査」すら儘ならぬなら、全国数千人規模の感染者率PCR「早期調査」を無作為抽出で、と前稿で提

連結売上高2275億円を誇るのに、迷走するスマホ決済とAI事業、韓国持ち分法適用会社赤字拡大を大義名分に連結決算マジックで今年度も法人事業税ゼロ円のLINE(株)は、濡れ手で粟の鳴籠状態です。

「早期検査」すら儘ならぬなら、全国数千人規模の感染者率PCR「早期調査」を無作為抽出で、と前稿で提